

令和7年度 文化芸術の力を活用した地域のにぎわい創出事業

高山夏希展

「モノたちの記憶、あかくなる結節点」

高山夏希展

「モノたちの記憶、あかくなる結節点」

Memories of Things, The nodes become red
Takayama Natsuki Exhibition

2025.11/29 sat — 12/21 sun
10:00—18:00 (最終入館は17:30まで) ※最終日は16:30閉館 火曜休館
[ギャラリートーク] 12/21 sun 14:00—15:30
高山夏希、森本信一(つやま自然のふしぎ館)、遠山健一郎(奈義町現代美術館学芸員)

同時開催
「モノと記憶で生成する現在」
津山高校美術部

PORT ART & DESIGN TSUYAMA

主催：PORT ART&DESIGN TSUYAMA、岡山県 助成：公益財団法人アイスタイル芸術文化財団、文化芸術の力を活用した地域のにぎわい創出事業

高山夏希展 事業経過報告

主催 | 岡山県、PORT ART&DESIGN TSUYAMA

アーティスト | 高山夏希

会場運営 | PORT ART&DESIGN TSUYAMA

実施主体 | EKG合同会社 代表 飯綱洋平





地域資源の活用 | 津山市の歴史的資源である旧銀行建造物を舞台に、地域に眠る古物を人々の記憶を宿す媒体ととらえ、現代の視点で新たな価値を創出し、現代アートを通じた地域の魅力向上を目指した。

津山高校生美術部ワークショップ | 次世代を担う高校生と作家が交流。プロ作家との対話を通じて成長を促した。



PORT ART&DESIGN TSUYAMAレンガギャラリー 大型インスタレーション

高山夏希 略歴

粒子の感触を確かめるように人間と物質の関係の再考を試み、
人・モノ・動物・環境などが一体性をもった自然観を表現する

Biography

- 1990 東京生まれ
- 2014 東京造形大学 造形学部美術学科 絵画専攻 卒業
- 2016 東京造形大学大学院 造形研究科 美術専攻領域 修了

Awards

- 2016 大賞 神山財団支援プログラム 成果展
- 2016 後藤繁雄賞 アートアワードトーキョー丸の内2016
- 2014 TURNER AMBASSADORS 2014
- 2014 アッシュペーフランス賞 アートアワードトーキョー丸の内2014
- 2014 ZOKEI賞 東京造形大学 修了制作展



water mirror_18

900 × 900 × 30mm(W×H×D), acrylic and resin on panel
2021年



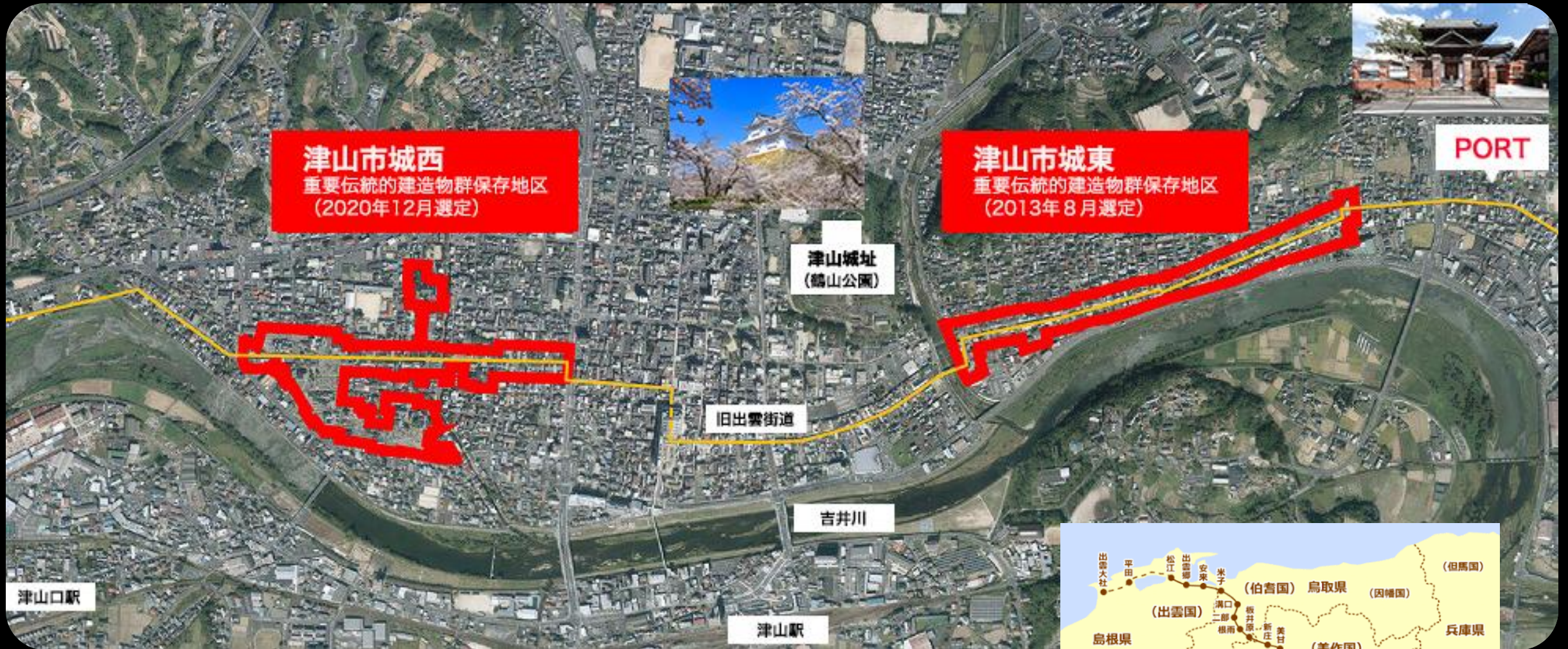


歴史 | 大正9（1920）年竣工 旧妹尾銀行林田支店

立地 | 津山城東地区・旧出雲街道沿いのエリア

空間 | 木造本館、レンガギャラリー、金庫、中庭

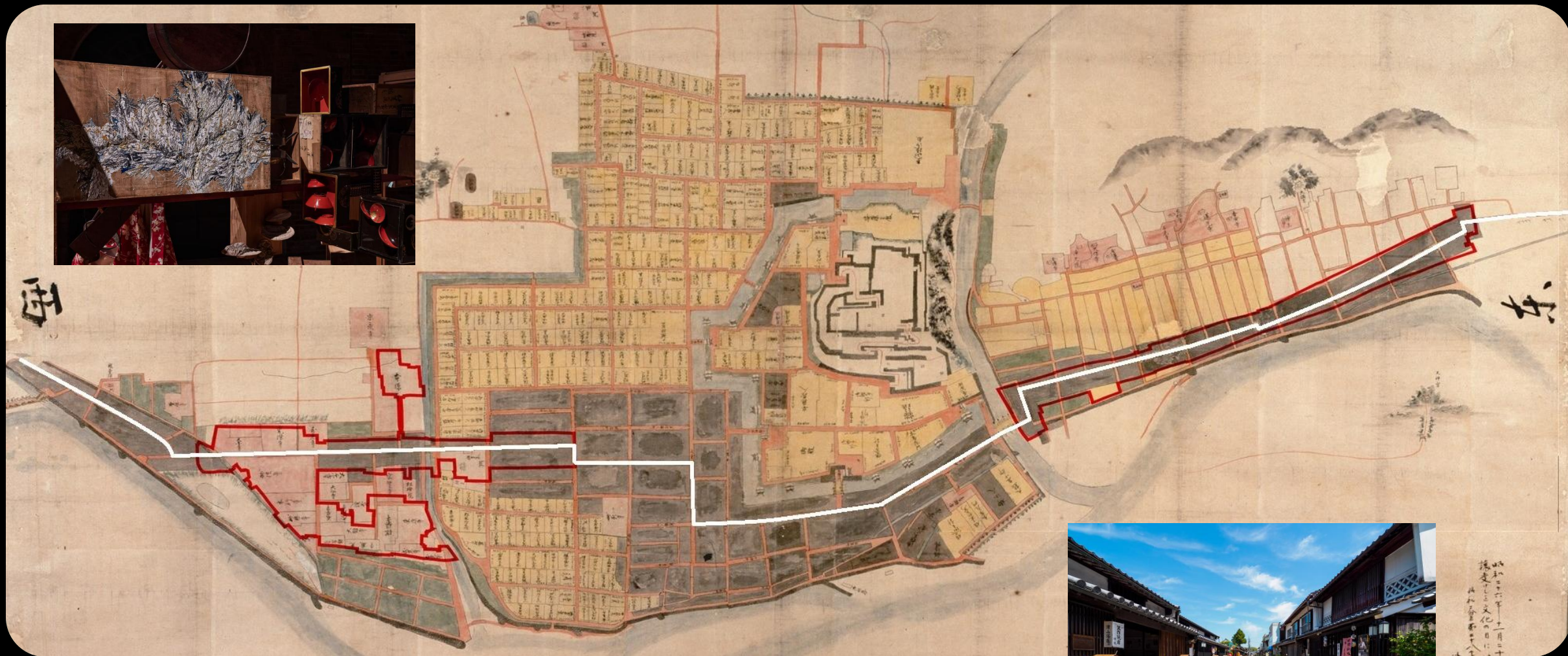
活用方針 | 建築そのものを環境として捉える展示



津山市内を横断する旧出雲街道：播磨国姫路一出雲国松江を結ぶ街道

古代より大和朝廷と出雲大社を結び、人、物、文化を運ぶ重要な役割を担った





江戸時代の旧出雲街道 | 高山夏希氏は古地図を作品要素として参照

事業概要

高山夏希展

「モノたちの記憶、あかくなる結節点」

会場 | PORT ART&DESIGN TSUYAMA (旧妹尾銀行林田支店)

期間 | 2025年11月29日～12月21日 (入場無料)



- 1 高山夏希「モノたちの記憶、あかくなる結節点」**
- 2 展覧会**
- 3 ギャラリートーク**
- 4 クロージングコンサート**
- 5 作品寄贈**
- 6 津山高校美術部ワークショップ**

1 高山夏希展

「モノたちの記憶、 あかくなる結節点」

- 古物収集・ヒアリング
- 作品制作
- 公開制作
- 展覧会フライヤー





収集された古物リスト 300点以上

古物収集・ヒアリング

地域に眠る古物を探し家々を訪ねた。提供者の記憶を丁寧に聞き、作品の構想を練る。主に津山城東地区や出雲街道筋の家々から古物を提供していただいた。





津山城東地区 2025年10月18日～22日



津山城東地区 2025年10月18日—22日



津山城東地区 2025年10月18日-22日



津山城東地区 2025年10月18日—22日



奥津温泉街（鏡野町） 2025年10月19日



津山城東地区 津山洋学資料館 2025年10月21日



森本慶三記念館 / つやま自然のふしぎ館 2025年10月21日

作品制作

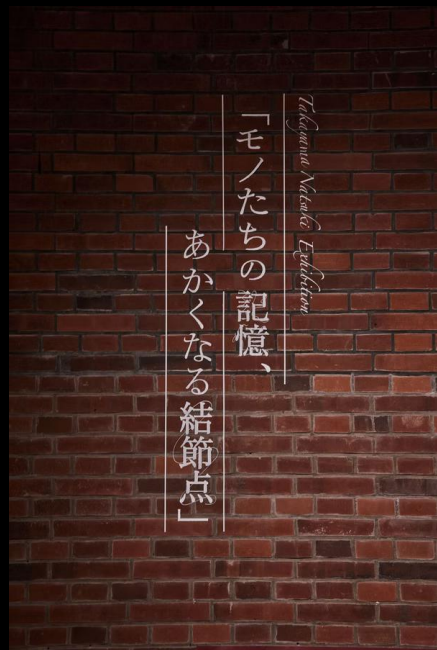
地域に眠る古物と提供者の記憶を丁寧に紡ぎ、古物を活用した、津山ならではのサイトスペシフィックなインスタレーション作品を創造した。城東地区中心部の古民家で公開制作を行った。



公開制作

2 展覧会 2025年11月29日—12月21日

PORT ART&DESIGN TSUYAMAの木造本館、
金庫棟、中庭、赤レンガ倉庫といった様々な空
間で、作品と空間が渾然一体となるインスタ
レーションが生まれた。環境にあわせ変化に富
んだ表現手法が見られる。



展覧会フライヤー

ARTIST 高山夏希 / Natsuki Takayama

1990年東京生まれ。平面作品を中心に、粒子の感触を確かめるように人間と物質の関係の再考を試み、人・動物・モノ・環境などが一体性をもった自然観を表現している。情報技術の発達によって記号化されたものの結びつきは強まったが、他方で記号化未満の事物への感性は弱まってしまうのではないだろうか。それによって周囲を取り巻くものに対しての実感が薄れてしまっているように感じている。こうした時代の中で失われてしまった様々な物体と人間の関係の回復を試みるように、近代的な世界観とは異なる、人間を含めた生物と自然が一体化した世界観を提示している。私たち自身が、絡まり合った世界の一部として生きる事を再認識する事によって、現代の人間の生を再考できるのではないだろうかと考えている。アクリル絵の具を流れる粒子のように物質的な状態として扱い、積層して彫刻刀やカッターの刃などを用いて削り出すなど、平面を主な媒体としながら、触覚的あるいは彫刻的ともいえる手法を用いて制作をしている。

主な展覧会 「まだかたものない-形相体」(東京アートミュージアム/2025年)「唯く、石走りて」(rin art association/2023年)「気色の目」(奈良町現代美術館/2023年)「房総里山芸術祭×いちはらアート×ミックス 2020+」[Conjunction-名詞から接続詞へ-](白鳥保育所/2021年)「VOCA 展 2020 現代美術の野望-新しい平面の作家たち-」(上野の森美術館/2020年) などアートプロジェクトや展示に多数参加

GALLERY TALK 12月21日(日) 14:00-15:30 場所: PORT ART&DESIGN TSUYAMA



高山夏希
アーティスト

森本信一
つやま自然のふしぎ館

遠山健一郎
奈良町現代美術館 学芸員

つやま自然のふしぎ館(津山科学教育博物館)の館長・森本信一さん、奈良町現代美術館学芸員・遠山健一郎をお迎えし、アーティストの高山夏希とともに、「古物と記憶」について語り合います。展覧会を通じて、古物や残されたモノの価値、そして未来に繋いでいく意味について、館長との貴重な対話を展開します。本展や博物館の古物(美術館の作品、残されたモノにまつわる物語、私たちの生活の中に息づく「残していくモノ」について深く掘り下げるこの絶好の機会をお見逃しなく。

参加費無料/予約優先(定員20名) ※当館まで電話またはメールでご連絡ください。
Tel..... 0868-20-1682 Mail..... info@port-tsuayama.com ※代表者氏名、参加人数、電話番号をお知らせください。

同時開催 津山高校美術部「モノと記憶で生成する現在」

津山高校美術部の生徒たちと4日間のワークショップを実施しました。生徒たちの「モノと記憶で生成する現在」をテーマに制作した作品を展示します。家の中に大切に残る古物を持参し、失われつつある「事物」への感性を育むとともに、それらに宿る記憶や時間を想像しながら制作活動を行いました。また、グループディスカッションを通じて、生徒同士が共有したい思いや物語が、新しい視点や想像力へと深化した作品になっています。ぜひ、ご覧ください。



PORT ART&DESIGN TSUYAMA
〒708-0841 岡山県津山市川崎 823
Tel.0868-20-1682 info@port-tsuayama.com

・駐車場:専用駐車場5台(当館から西へ100m)
・臨時駐車場:津山東公民館の白線のない南側フリースペース
※本館隣「マンション東校原」駐車場のご利用はご遠慮ください

指定管理者: EKG 合同会社 (代表 飯沼洋平) HP: <https://www.port-tsuayama.com>



Photo) 清忠之
Design) 桑田亜由子

文化芸術の力を活用した地域のにぎわい創出事業 岡山県では、地域との連携・協働により、地域の多様な文化芸術資源を活用して、地域の魅力や価値を高め、地域を元気にするとともに、県民の皆さまに対して優れた文化芸術に触れる機会を提供しています。



高山夏希展
「モノたちの記憶、あかくなる結節点」

2025.11/29 sat — 12/21 sun
10:00—18:00 (最終入館は17:30まで) 火曜休館
※最終日は16:30閉館

[ギャラリートーク] 12/21 sun 14:00—15:30
高山夏希、森本信一(つやま自然のふしぎ館)、遠山健一郎(奈良町現代美術館 学芸員)

同時開催
「モノと記憶で生成する現在」
津山高校美術部

PORT ART&DESIGN TSUYAMA

主催: PORT ART&DESIGN TSUYAMA、岡山県 助成: 公益財団法人アイスタイル芸術文化財団、文化芸術の力を活用した地域のにぎわい創出事業

展覧会フライヤー



「モノたちの記憶、あかくなる結節点」

この度「PORT ART&DESIGN TSUYAMA 1.1」高山夏希の個展「モノたちの記憶、あかくなる結節点」を開催させて頂く運びとなりました。

展覧会場であるPORT ART&DESIGN TSUYAMA「ポートアート&デザイン津山」(以下「PORT」)のある建物は、大正9年(1920)に竣工した旧尾尾銀行林田支店として創建し、その後は津山洋学資料館として市民の方々に親しまれる場所でした。平成30年(2018)には新たに芸術文化の創造・発信拠点として整備され、市民へと開かれた場所ともなっています。

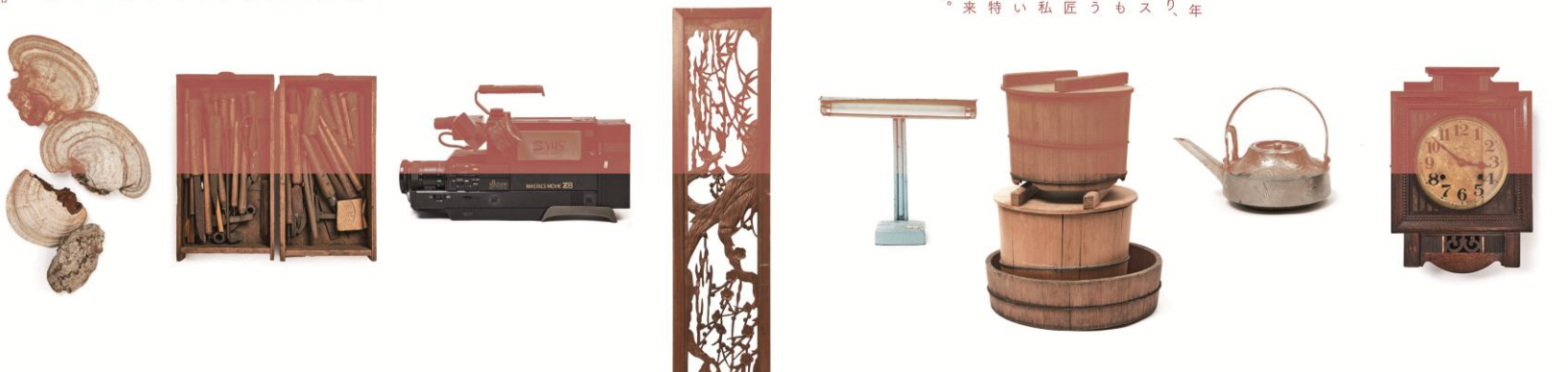
私が会場を訪れた際に、つくづく印象に残ったのは、100年以上もこの場所が残り続けながら、人々が今もお集まり、展覧会・コーヒースタンド・イベント会場・ワーキングスペース・図書コーナーなど、その場所に訪れる人々とともに、建物の活用の仕方が変化し続けていることです。そうした変化とは相反して、建物として残されてきた古い意匠とその背景があり、変化と持続の両義性のある場所であり、私は建築空間を環境としたインスタレーションを制作したいと考えました。また、このようにして活用される場所の特性を活かし、鑑賞者となる近隣の人々が、会場まで行き来する道筋も含めて展覧会に取り込みたいと考えたのです。

PORTの位置する城東地区や、それらをつなぐ出雲街道沿いの方々を対象に、不要になつたが捨てられずにいる古物を収集し、その物への思い入れをヒヤリングするところから私は制作をはじめました。誰も人には代々受け継いだ

事物など、個人の環境や背景が刻まれているモノがあると思っています。そうしたモノを処分せずに、作品の素材として提供してもらい、再び息を吹き込みたいのです。現代の技術が情報化の中で、紙媒体がデジタルデータ化され、電子機器一つに電話も地図も計算も時計も集約され、身軽になり便利になりましたが、事物への感性が薄れてしまっているように私は感じています。そうした中で、失われつつある物を受け継ぎ、美術を通じてもう一度、事物への感性や想像力を呼び起こすことができるのではないのでしょうか。この地域に眠っていた家財を用いて、新たな形へと生成することで、様々な物体と人間の関係の回復を試みることに。これによって、近代化する一方で失われつつある事物への強い私的な思い入れを作品に取り込むことができるとは思いません。

本展示では、個々に受け継がれた家財道具や、住まう家の一部だったモノ、衣服、道具など私たちの周囲にある身近なモノを素材としながら、渾然一体となった空間をつくりだします。そうして収集した物を、立体作品として制作し、インスタレーションの一部として構成していくのです。そうして持ち主と物の持つこれまでの過去の時間と、作品として生まれ変わった現在、それぞれの場所と会場とを繋げることを試みます。私にとって、作品素材を提供して下さる方々との交流を通じた新たな制作の試みになります。制作を通じて不要になつた物が新たな姿へと形成し、その物の行く末(もしくは、それによって新たな役割を果たす)を問う実験的な制作でもあります。資源が使い捨てになつていく中で、物を作ることに疑問を持たれる時代ですが、機能性や利便性といった合理的な理由づけで物を扱うのではなく、別な想像力を働かせることで、薄れつつある事物への感性の回復や、私たちの周囲に取り巻くモノたちに対する実感を再考できるのではないかと考えています。

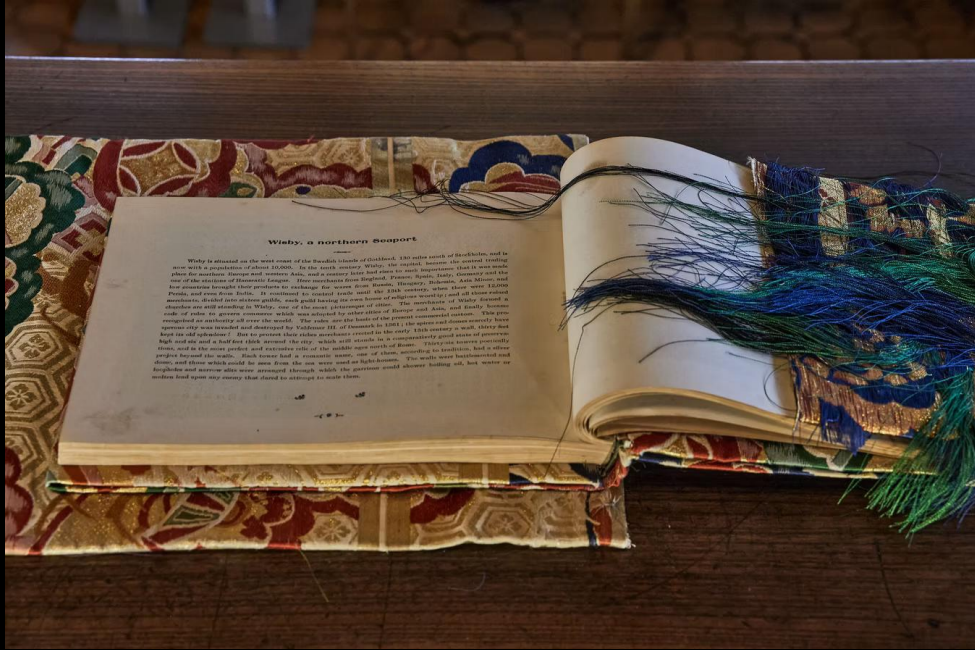
高山夏希













3 ギャラリートーク

2025年12月21日

つやま自然のふしぎ館 森本信一館長、奈義町現代美術館学芸員 遠山健一朗を迎え、アーティストの高山夏希とともに、「古物と記憶」について鼎談を行った。古物や残されたモノの価値、未来に繋いでいく意味などを語り合った。美術館、博物館における作品の価値や物語、生活に息づくモノについて深く掘り下げる機会となった。



4 クロージングコンサート

ギャラリートークの後、菊地慎氏+当真伊都子氏のデュオ
synfilms によるクロージングコンサートを開催。高山夏希氏
のライブペインティングも行われた。当真氏の弾く電子ピアノ
や展示されている大理石に即興ペインティングを行った。幻想
的な演出に参加者は魅了された。華やかなクロージングイベ
ントとなった。



5 作品寄贈・設置

大型インスタレーション作品を津山市内に留めておきたい作家の要望から、当館から近いカンダミュージアム（ジュエリーカンダ併設）への寄贈を実現した。地域にゆかりを持つ古物を活用し再生させたアート作品を地域の中に常設できた。



6 津山高校美術部

ワークショップ

津山高校美術部の生徒たちと部活動の時間を使い、4日間のワークショップを実施。「モノと記憶で生成する現在」をテーマに、生徒たちが作品制作を行った。作家は大和やデモンストレーションを行い、生徒の自主性を引き出した。





10月7日（オンライン）、10月20日—22日 津山高校美術部にて

ご協力を賜りました皆さまに心より御礼申し上げます。

アーティスト—高山夏希

企画サポート—小林正秀

協力(五十音順)

赤堀浩一

大野美穂子

奥津荘 鈴木治彦

小原健司・敦子

岡山県立美術館 古川文子

金田美智子

菅田株式会社 菅田茂

北川太郎

季譜の里

黒田幸志

桑田亜由子

久保典子

小池佳子

駒沢松子

坂手紀子

synfilums 菊地慎+当真伊都子

須江文恵

勝央町 福吉地区自治会

勝央美術文学館 野村英子

須藤歩

千光寺 早川石峯

高田法子

津山郷土博物館

つやま自然のふしぎ館 森本信一

津山高校美術部+顧問 川村洋平

津山洋学資料館 小島徹

中川真弓

奈義町現代美術館 岸本和明

奈義町現代美術館 遠山健一朗

花房徳夫

藤井陸

水野明浩・千香子

道忠之

森井楓貴

山本晶大

主催—岡山県 PORT ART&DESIGN TSUYAMA

A museum gallery with traditional Japanese furniture and a red floral kimono. The room features a large wooden cabinet on the left, a low table with a blue mat, a tall wooden cabinet with a mirror, and a red floral kimono hanging on a stand. The floor is made of light-colored wood, and the walls are brick with arched doorways. The lighting is dramatic, with spotlights creating starburst effects on the ceiling. A green exit sign is visible in the background.

Fin

ご清聴ありがとうございました